

単独運転検出装置 (エネリンク) Islanding Phenomenon Detection System

転送遮断システムにかわる新方式...
風力、コージェネ、小水力発電設備の
系統連系に最適!!

第四十九回選奨受賞
(平成十六年度)

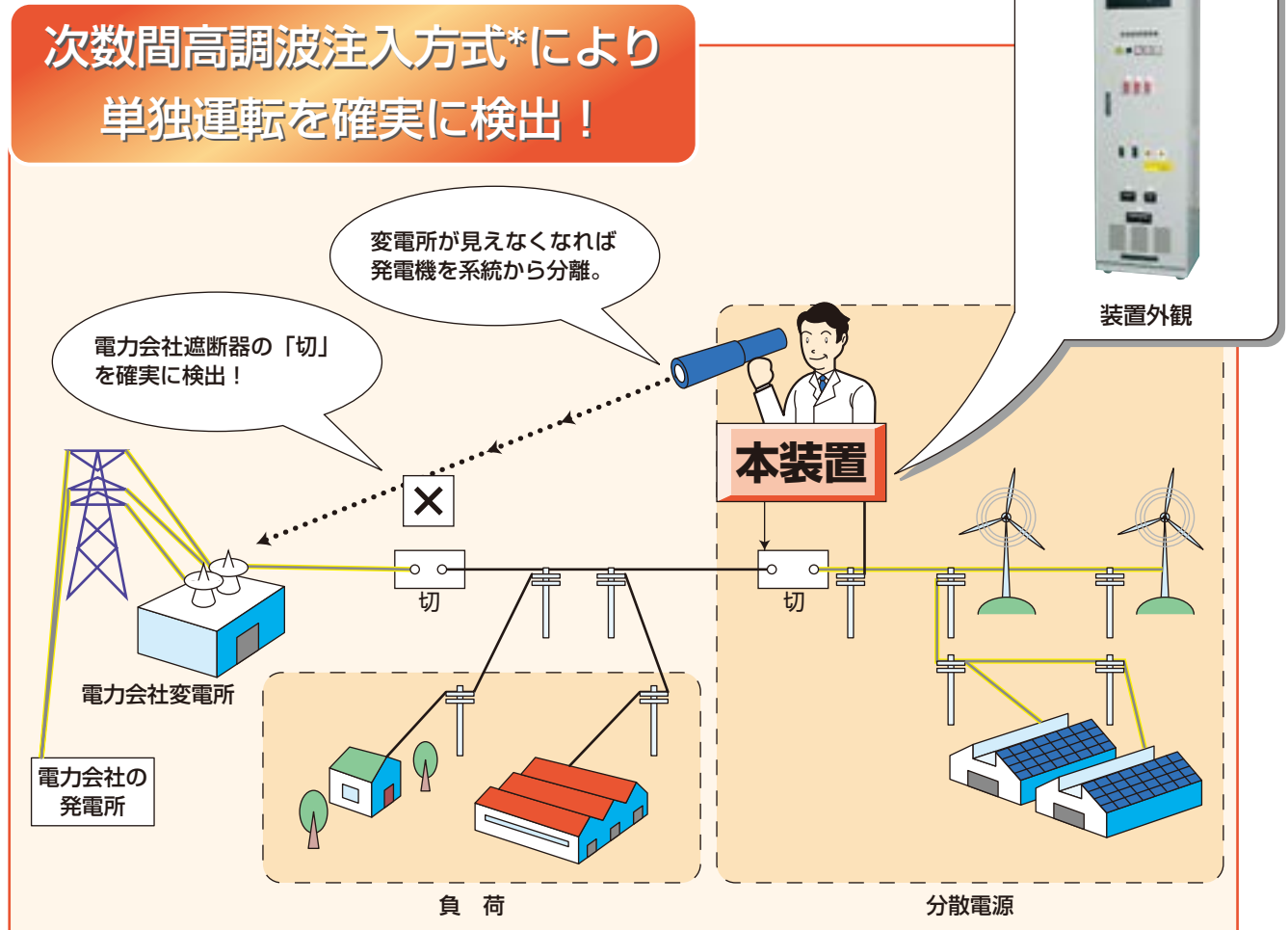
新エネ大賞
新エネルギー財団会長賞
新エネルギー機器の部
単独運転検出装置

2001 電設工業展にて
「日本電設工業協会会長賞」を受賞

変電所との接続を見張る装置

* JEAC 9701-2010「系統連系規程」に方式掲載

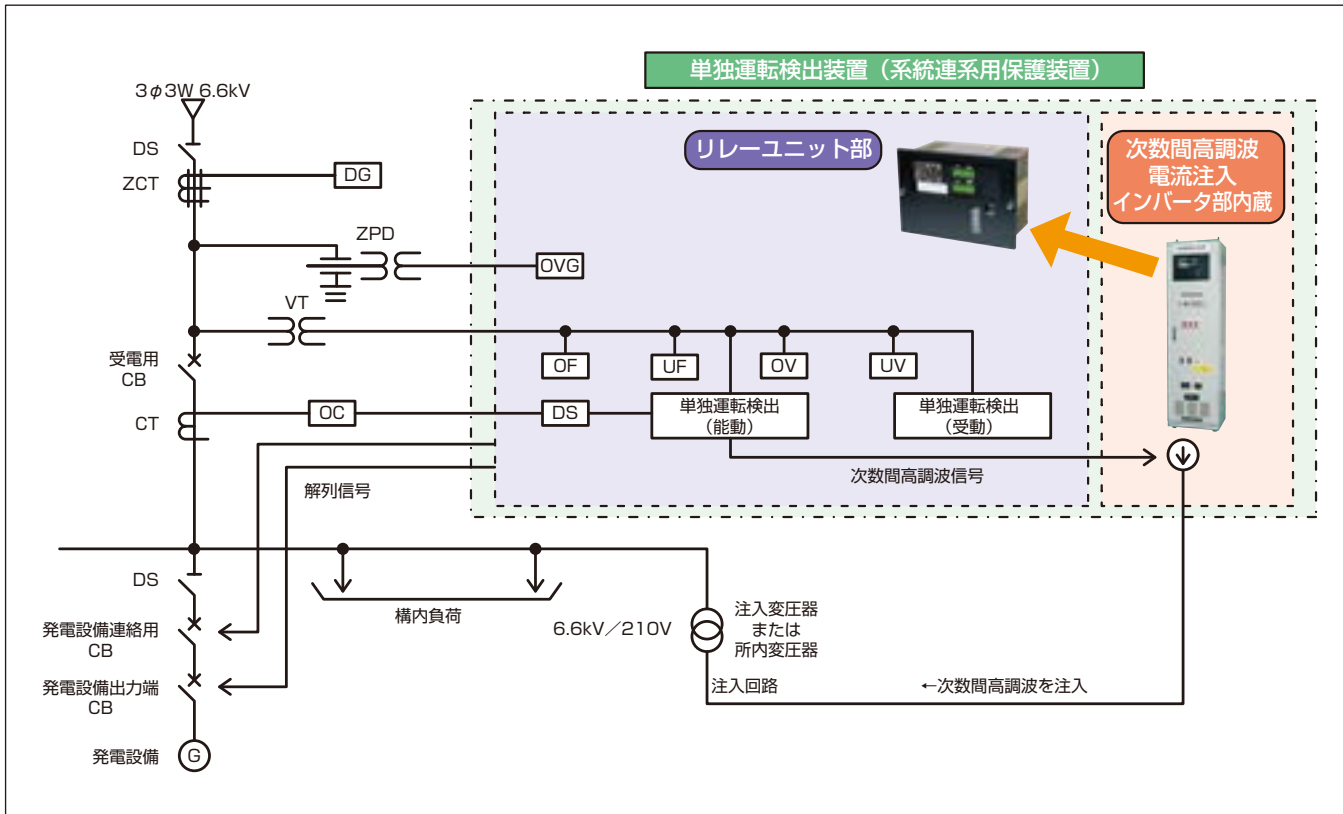
次数間高調波注入方式*により
単独運転を確実に検出!



特長

1. 発電用の転送遮断システムを不要とする、高速・確実な新方式（能動）を開発 [特許番号:3367371号]
2. 次数間高調波方式を採用することにより
 - 系統への影響が軽微です。
 - 同一配電線に複数の分散電源（本装置）が設置されても相互干渉がありません。
 - 1秒程度の短時間で検出が可能です。
 - 分散電源の種類を選びません。
 - 1電源設備内の発電機台数に関わらず、本装置1台にて対応可能です。

■単独運転検出装置の適用例



■本装置が内蔵する保護方式

区分	方式
発電電圧異常時の保護	「OV」 過電圧リレー (59) 「UV」 不足電圧リレー (27)
系統短絡保護	「DS」 短絡方向リレー (67S) 「UV」 不足電圧リレー (27)
系統地絡保護	「OVG」 地絡過電圧リレー (64V)
単独運転防止	「OF」 周波数上昇リレー (95H) 「UF」 周波数低下リレー (95L) 単独運転検出機能 (受動)
	単独運転検出機能 (能動)

(系統連系規程に準拠)

■仕様概要

注入次数	2~3次における次数間高調波で、 12の調波 (12ch) の中から選択
注入電流	最大2.0A (6.6kV側において) 注入電流による次数間高調波電圧歪みは、 高圧系基本波電圧に対し0.2%以下
計測要素	受電点の三相電圧および三相電流 (地絡過電圧要素計測には零相電圧も計測)
演算仕様	DFTによる次数間高調波、基本波抽出
準用規格	JEC-2500
寸法	外形寸法 W500×H1700×D400(mm)

(注) 本カタログに記載の仕様 (定格・寸法・外観など) が変更されている場合がありますので、ご注文の際は改めてご確認をお願いします。



〒615-8686 京都市右京区梅津高畝町47番地
TEL (075) 861-3151 (代表) FAX (075) 864-8312 <http://nissin.jp/>

お問い合わせ先 〒615-8686 京都市右京区梅津高畝町47番地

TEL (075) 864-8409 (直通) FAX (075) 864-8574

Cat.No.8176 R8 200161

200167

2013.4.D.50 ©